

高浜市の未来を描く市民会議

ニュースレター

2010. 10. 22(金) VOL.10

事務局:高浜市地域協働部地域政策グループ 高浜市青木町四丁目1番地2 TEL0566-52-1111(内線 352)

私たちのまち・高浜市への愛情をたっぷり込めて・・・

「第6次総合計画」「自治基本条例」の素案発表会を行いました!!

9月19日(日)いきいき広場2階ホールにて「第6次総合計画」と「自治基本条例」の素案発表会を行いました。条例づくりや計画づくりの中間段階で素案を発表し、市民の皆さんと意見交換を行うという機会は初めてといてもいいかもしれません。入口には、今までの軌跡を紹介したニュースレターなどを掲示。「市民会議のアットホームな様子がよく分かる」と足を止めてじっくりと眺めている来場者も見受けられました。素案作成に携わったメンバーの皆さんの発表は「より多くの方に関心を持ってもらいたい!」「高浜市をこういうまちにしていきたい!」という熱い想い、情熱がギュッと凝縮されており、随所に工夫や心遣いが感じられました。



その後、市民会議発足時から関わっていただいている中川幾郎先生(高浜市総合計画審議会会長)から「総合計画」「自治基本条例」についての分かりやすい解説を頂きました。

今後は10月18日まで募集した素案に対するご意見やご提案の結果と対応をまとめて12月に公表するとともに、修正案の検討作業を行います。



☆ 発表会の意見より ☆

熱のこもった
発表と整理された
資料を見て
驚きました!
【来場者】

分科会を振り返ってみると、いつも終わるのは夜9時過ぎ、一番遅いときは10時というときもありました。長い道のりだったというか、私も職員になってから、ここまで市民の皆さんと膝を交えて、「高浜市をこうしていきたいんだ!」という熱い議論したことはなかったような気がします。ここからがスタート。こういった形を「輪」になるように広げていきたいなあ、と思います。
【職員メンバー】

産業は、まちの成長を支える「エンジン」。産業分科会では、少しでも高浜の心臓部(財政)が良くなるようにという市民メンバー全員の強い想い入れがあり、冊子の中には書ききれないほどの非常にたくさんの意見・提案が挙がりましたが、議論に議論を重ねた上で、2つのテーマの中に凝縮しました。職員の皆さんにお願いしたいのは、市民の想いをこの中から少しでも読み取っていただきたいということ。また、我々市民も行政任せではなく、自分達で出来ることは自分達でやるということを意識しながら、今後の活動に活かしていきたいと思っています。【市民メンバー】

こんなに思いのある
方々が集まり、
作られた素案というの
がよく分かりました。
これからが
たのしみです!
【来場者】

- ★ 財政的な面も含めて、地方自治制度が大転換を起こしつつある。地方分権がますます進む中で、議会と行政が担っている「団体自治」を市民にわかりやすく示すこと、国の法律ではあまり詳しく書かれていない「住民自治」を条例で強化していこうというのが、自治基本条例の狙いの一つである。
- ★ 高浜市で取り組まれてきた「まちづくり協議会」も、条例上の認定団体として育てていくという考え方が明確にされた。また、まちづくり協議会が策定する「地域計画」を、市政運営の上で尊重することも明記された。そうした条例のもとで、新しい総合計画がスタートしようとしている。
- ★ 総合計画とは、「団体自治」、つまり議会と行政が責任を持って、高浜市という自治体の将来をより良いものにしていくためのプログラムである。国では、法律を改正して、総合計画の中の基本構想を策定義務から外そうという動きがある。今後は、計画に依拠してきちんと運営を進めていく自治体と、大した計画を持たずにフラフラする自治体と二極分化していくと思われる。基礎自治体と言われる市町村の責任はますます重たくなっている。政策決定の基準が市町村に問われてくるという時代がやってきている。住民の皆さんの参画と協働を得ながら、しっかりとした自治体をつくっていくためには、自治基本条例としっかりした総合計画を持つことが標準装備となってくる。
- ★ 1920年代にアメリカの社会教育学者、ジョン・デューイは「土地に根を生やした人の支える民主主義こそが本当のアメリカを支えるんだ」と唱えた。これを「グラスルーツデモクラシー」という。その土地に根ざして生きていこうとする人たちによって支えられる政治、政府、市民社会が地域を活性化させる。自治基本条例と総合計画の検討が、高浜市という土地に根ざした皆さんの力を得て、148人、90回にわたる作業で案がまとめあげられた。その意味はとても大きい。自治基本条例と総合計画は、団体自治を支える住民自治に、もっともっと強い力を与えていき、団体自治との間のコミュニケーション・つながりを深め、風通しを良くして「見える議会」「見える行政」を作っていくことに役立っていくことだろう。

みんなで
いいまちをつくろう！

計画づくりの次は
みんなで実行に
うつしていこう！



▲発表者のみなさんと中川先生と市長



【編集後記】 素案発表会の会場で配られたプログラムには「総合計画ってなに？」「自治基本条例ってなに？」という説明とこれまでの経緯・足跡が書いてあります。それを見て「初めて総合計画や自治基本条例という言葉聞いたという人が、抵抗なくまちづくりに興味を持ってくれたらいいなあ」と市民メンバーの方が言われていました。それは市民会議が始まった頃、事務局の職員が抱いていた気持ちと同じで、市民会議をきっかけに「自分達のまちのことを自分のこととして考え、行動する」そんな想いの方向性を共有できた証のようです。引き続き策定やその先の未来に向けて、参画、協働、情報共有の輪が、水面をゆるやかに広がっていくように繋がっていくことを期待しています。(K.K)

これまでに開催した審議会・市民会議の資料・記録等を市公式HPに掲載しています。

<http://www.city.takahama.lg.jp/grpbetu/seisaku/index.html>

→「高浜市総合計画審議会」「高浜市の未来を描く市民会議」の項目をご覧ください。

